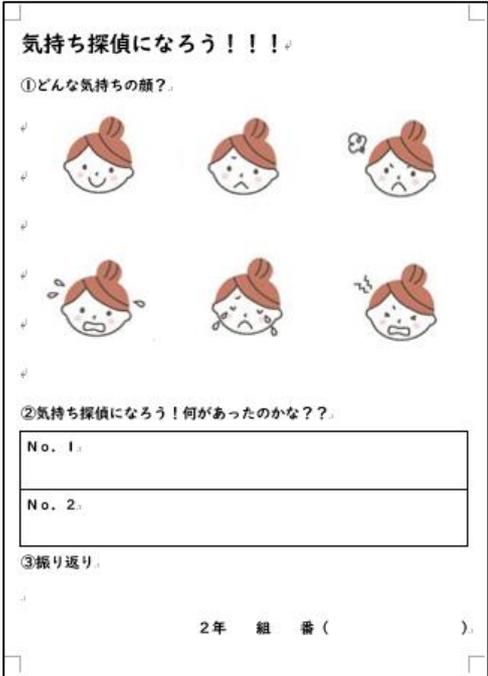
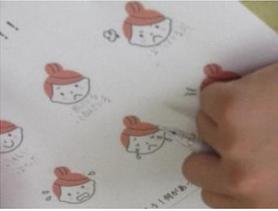


自作教具の活用事例

<p>【作品名】</p> <p>気持ち探偵になろう (表情カード・ワークシート・場面絵)</p>	<p>【学校名】</p> <p>日立市立泉丘中学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】</p> <p>自立活動</p>	<p>【制作者名】</p> <p>浅川 なつ美</p>
<p>【制作の意図】</p> <p>感情に関するゲームを通して、人との関わり方や他者の気持ちに気付くきっかけについて楽しく身に付けられるようにした。</p> <p>人の気持ちが分かる手がかりや場面に応じた対処法について理解し、日常生活でも他者と良好なコミュニケーションを図れるようにしたい。</p>	<p>【使用方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別でも少人数でも行うことができる。 カードの表情について、どんな気持ちなのか考えたり、自分だったらどんな時にその表情になるのかを想像したりする。 折りたたんだ場面絵を少しずつ開いて、段階的に状況や気持ちを考える。
<p>【制作上の工夫】</p> <p>〈表情カードの工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 上質紙に印刷することで繰り返し使えるようにしたり、カードにすることで自分の気持ちを伝えるためのツールにしたりできるようにした。 <p>〈ワークシートの工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを言葉やイラストを使って自由に表現できるように、枠を作らず余白を多くした。 <p>〈場面絵の工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙を折って人物の表情のみを提示し、少しずつ紙を開いていくことで、段階的に状況や気持ちについて考えられるようにした。 	<p>【見取り図】</p> 
<p>【写真】</p> <p>表情カード</p>  <p>ワークシート</p>  <p>場面絵</p> 	<p>【使用効果と応用発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ゲームを取り入れて活動することで、友達と関わりながら楽しく活動することができた。 話し合いながら活動を進めたことで、「楽しい気持ちの時には、こんなことがあった。」「こんなことがあったときには、嫌な気持ちになった。」など、これまでの経験を思い出し、自分のこととして考え、意見を伝えることができた。 活動を通して、人の気持ちが分かる手がかりや場面に応じた対処法について理解することができた。
<p>【材料・材質・部品等】</p> <p>ワークシート (A4サイズで印刷)</p> <p>表情カード (それぞれの表情をA4版上質紙にカラー印刷)</p> <p>場面絵 (A3サイズでカラー印刷)</p>	

